

① トルコリラ

14日の外国為替市場でトルコリラが一時、1ドル=9.1リラ台まで下落し、過去最安値を更新した。エルドアン大統領が中央銀行副総裁2人を含む金融政策決定会合メンバー計3人を更迭。政権による中銀への介入が強まり、金融政策が混乱することへの警戒感が広がった。

以前からお伝えしています通り、エルドアン大統領在任中のトルコリラはずっと弱くなると思います。トルコ旅行には最適？

買・売 **12.3515-12.3867** ↓ (21/10/15 06:30)
 前日比 -0.0041 (-0.03%)

【トルコリラ:3年】



② ユニクロ


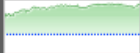

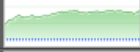


ファーストリテイリングが14日発表した22年8月期の売上収益は前期比3%増の2兆2000億円、純利益は3%増の1750億円を見込み、2期連続の最高益を目指す。純利益は事前の市場予想平均(QUICKコンセンサス、1987億円)を下回った。

中華圏の業績見通しについて22年8月期の上半期は減収減益を見込む。成長一辺倒だった近年はなかったことだ。

本日の株価が注目されます。

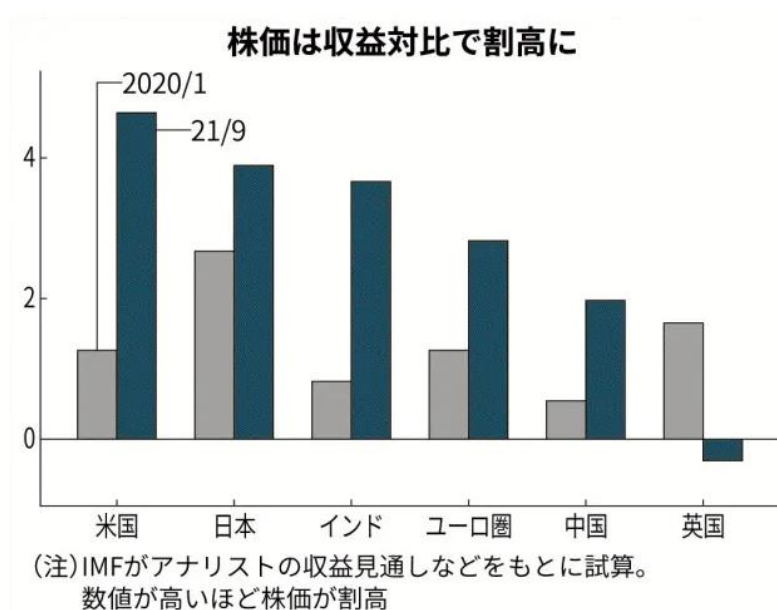
③ 米株価

市場予想を上回る米主要企業の決算発表が相次ぎ、投資家心理が改善した。

NYダウ			34,912.56	▲1.56%	+534.75	H:34,923.83 L:34,443.22	10/14
NASDAQ			14,823.43	▲1.73%	+251.79	H:14,827.56 L:14,699.52	10/14
NASDAQ100			15,052.42	▲1.88%	+277.82	H:15,059.89 L:14,901.59	10/14
S&P500			4,438.26	▲1.71%	+74.46	H:4,439.73 L:4,386.75	10/14

IMFが9月時点の業績見通しと比べ、株価が買われすぎかどうか調べたところ、日米や中国、インドなどでコロナ前の20年1月時点よりも割高になっていることがわかった。

特に米国株は割高度合いが強い。



④ 米国国債利回り

すべて利回りが低下。

10年国債利回りの低下が顕著。

米国債券2年利回り			0.364	▼1.03%	-0.004	H:0.368 L:0.342	05:49
米国債券5年利回り			1.052	▼3.25%	-0.035	H:1.086 L:1.042	05:49
米国債券10年利回り			1.514	▼2.25%	-0.035	H:1.566 L:1.507	05:49
米国債券30年利回り			2.020	▼1.05%	-0.021	H:2.076 L:2.013	05:49

⑤ 為替

各国の国債利回り低下にもかかわらず円全面安に。

「分配なくして成長なし」という日本の政治に本格的に失望か。

ポンドはあつという間に6円も円安に。

まだまだこれから。

独国債10年	-0.190	-0.006
豪国債10年	1.612	-0.029

ドル円				113.677	▲0.38%	+0.430	H:113.716 L:113.213	05:55
ユーロ円				131.833	▲0.41%	+0.540	H:131.855 L:131.303	05:55
ポンド円				155.42	▲0.48%	+0.74	H:155.74 L:154.71	05:55
スイスフラン円				123.07	▲0.51%	+0.62	H:123.28 L:122.54	05:55
豪ドル円				84.30	▲0.90%	+0.75	H:84.40 L:83.53	05:55

⑥ ドルインデックス

実はこのところドルインデックスは横ばい。



⑦ CRB 指数

高値を更新。

マネーは着々とコモディティに流れている。

